

SAY

働く女性の知的・美的生き方マガジン

[月刊セイ] 550 YEN
NOVEMBER 2006

逆境に立ったとき——それは、日ごろのリスク管理の質が問われる場面です。トラブルが起きたとき、会社内に相談窓口があるか、なければ外部にはどんな相談機関があるか、キチンと知っていますか？ ふだんから、自分の雇用条件や契約内容を把握していますか？

逆境に立ったとき——それは、日ごろのリスク管理の質が問われる場面です。トラブルが起きたとき、会社内に相談窓口があるか、なければ外部にはどんな相談機関があるか、キチンと知っていますか？ ふだんから、自分の雇用条件や契約内容を把握していますか？

逆境に立ったとき——それは、日ごろのリスク管理の質が問われる場面です。トラブルが起きたとき、会社内に相談窓口があるか、なければ外部にはどんな相談機関があるか、キチンと知っていますか？ ふだんから、自分の雇用条件や契約内容を把握していますか？

逆境に立ったとき——それは、日ごろのリスク管理の質が問われる場面です。トラブルが起きたとき、会社内に相談窓口があるか、なければ外部にはどんな相談機関があるか、キチンと知っていますか？ ふだんから、自分の雇用条件や契約内容を把握していますか？



坂巻美和子先生

さかもきみわこ●大和證券、三菱重工業、住友不動産などの勤務を経て85年独立、「社員教育研究室」を主宰。対企業研修、講演活動多数。著書『道草してキャリアデザイン』
<http://www.syainkyouiku.com>

interview

逆境を、新たなジャンプのための踏み台に！

周囲の仕打ちに涙！――人間関係トラブル

「職場は仕事をするところ」：とはいっても、心無い陰口や仲間はずれはツライ。仕事にかかる嫌がらせとなると、さらに大迷惑！ 仕事に支障が、心には深い傷が…。そんな人間関係トラブル、どう切り抜ける？

トラブルに負けない！ 4か条

――人材コンサルタント・坂巻美和子先生

働く女性に必要な 「タフネス」

働く女性のカウンセリングをして

いると、対人コミュニケーションに悩む人にしばしば出会います。自分

を見失い、社会とどう折り合いをつけいくか、自信を失っている女性

も大勢いらっしゃいます。

必要以上に落ち込みます、周りと上

手に対応していく自分を作る——そ

んなビジネスライフを乗り切るコツ

を紹介しましょう。

相手に苦手意識を感じたら、長所

を見つける努力をしましょ。

まず相手の特徴を書き出し、その下に「能

力がある」という言葉をつけ加えて

みます。「自己主張する」「+「能力が

ある」「誰にでもいい顔をする」「十

の方法

ストレスに漬されない

①苦手な相手には「質より量」

苦手な人のコミュニケーション

は「質より量」が決め手。クオリティの高い会話を交わすより

多い。その経験の意味を考えること

により、その後のキャリア人生は、

大きく変わることでしょう。

基本的に「一企業に継続して働くこと」だけがキャリアではない、と私は思っています。

たとえば親の介護や子育て、ある

いは復字で、一時期仕事から離れる

女性も大勢います。ここで大事なのは「その経験をいかに意味づけるか」

です。就労を中断している間に得た

経験や勉強を次の仕事に生かす、と

身の処し方も把握できます。このようにキャリアアドバイ

ンをきちんと描けていれば、自然と

②パワーハラに対抗するには

さわやかに「NO」を言う能力を

伸ばしましょう。感情的にならず、

「その言葉、傷つきました」と答え

る。言い方はあくまでソフトに。で

も意思はきちんと伝えるのがポイント

です。

③自信喪失しないコツ

自分のビジネス能力の強み、弱み

を知っていますか。「この分野なら」

と勉強していれば、人に「目置かれ

るチャンスにもめぐりあえます。そ

うした努力と経験を重ねることで、

周りとの自信に満ちた「コミュニケーション力を身につけることができる

のです。

それでも、それは心の持ち方一つで次

見る。このように「転ばぬ先の杖」

を用意していても、長い仕事人生、探

トトラブルは一度ならずやってくるで